

岩手県の農林水産業の概要

特徴・取組

岩手県は本州の北東部に位置し、東西約122km、南北約189kmと南北に長い楕円の形をしており、その面積は、約1.5万km²と国土面積の4%を占め、北海道に次ぐ広さとなっている。

奥羽山脈の山沿い地方は冬に雪の多い日本海側の気候、北上高地は高原性・盆地性の気候、北上川沿いの平野部は全般的に冬は寒さが厳しく夏は暑い内陸性の気候、沿岸部は海洋性の気候となっており、地域の気象条件や特性を生かした多彩な農林水産物の生産が行われている。

岩手県の産業別総生産（平成30年度）は、第1次産業が1,663億円（3.5%）、第2次産業が14,167億円（29.9%）、第3次産業が31,265億円（66.0%）となっている。

また、農業産出額（令和2年）は総額2,741億円で、東北2位、全国10位となっており、うち畜産が1,628億円と59%を占めている。

岩手県の農業は、米、園芸、畜産が盛んであり、りんどう、りんご、ブロイラー、ホップ、雑穀などで全国有数の産地となっている。

林業は、豊富な針葉樹・広葉樹資源を活かした木材生産が盛んであり、全国有数の素材生産量を有するほか、木炭や生うるしが全国一の産地である。

水産業は、さけ、あわび、うに等の栽培漁業やわかめ、こんぶ、かき、ほたてがい等の養殖など、「つくり育てる漁業」が盛んである。

GI登録は都道府県2位の7件で、前沢牛、岩手野田村荒海ホタテ、岩手木炭、二子さといも、浄法寺漆、甲子柿、広田湾産イシカゲ貝が登録されている。

岩手県では、「意欲と能力のある経営体を育成し、農林水産業の振興を図る」「収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくる」「農林水産物の付加価値を高め、販路を拡大」「一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくる」ことを農林水産業施策目標に掲げ、水田における高収益作物転換、県産農林水産物の輸出拡大、水産物の「三陸ブランド」の確立を図っている。

主な農林水産物

りんどう(切り花類)

昭和33年に野生株を収集して水田で栽培したのが始まり。昭和42年からオリジナル品種の開発を開始。
(出荷量全国1位)



ホップ

栽培面積は全国の約5割を占める。契約栽培による安定した収益が確保されている。
(生産量全国1位)



りんご

冷涼で気温の日較差が大きい恵まれた気象条件と、わい化栽培により早期多収で高品質。ふじ、ジョナゴールド、はるかなど品種も多彩。
(収穫量全国3位)



雑穀

近年、健康食ブームにより雑穀の様々な成分や機能性が見直され多様な活用が行われているほか、郷土食として今も地元で根付いている。花巻市や県北地方を中心に栽培。



ブロイラー

国内を代表する産地で、岩手独自の地鶏を含む多数の銘柄鶏があり、オリジナルの餌等により肉質等にこだわりを持った生産が行われている。
(出荷羽数全国3位)



肉用牛

黒毛和種は、県下に多数の銘柄牛を飼養。特に前沢牛の牛肉はGI登録されている。また、希少な日本短角種は全国の4割を生産。
(飼養頭数全国5位)



木炭(黒炭)

原木となるナラが豊富にあり、県北地域を中心に生産され、全国の4割を占める日本一の産地。
(生産量全国1位)



生うるし

国内生産量の約7割を生産。「浄法寺漆」は、中尊寺金色堂、日光東照宮など世界遺産の保存修理にも用いられている。
(生産量全国1位)



わかめ類

肉厚で歯ごたえがあり、色が濃く熱に強いことが特徴で、全国でも有数の品質。
(収穫量全国2位)



さけ類

「南部鼻曲り鮭」とも呼ばれる秋さけは岩手を代表する魚。
(内水面漁獲量全国3位)



岩手県内の各地域における農林水産物

盛岡地域

【農畜産物】 水稲、小麦、そば、ピーマン、やまのいも、きゅうり、キャベツ、レタス、だいこん、はくさい、ほうれんそう、ブロッコリー、トマト、ズッキーニ、すいか、りんご、なし、ぶどう、やまぶどう、りんどう（切り花類）、アルストロメリア（切り花類）、スターチス（切り花類）、乳用牛、豚、生乳
 【林産物】 からまつ、広葉樹、生しいたけ、なめこ
 【水産物】 ます類（内水面）

県北地域

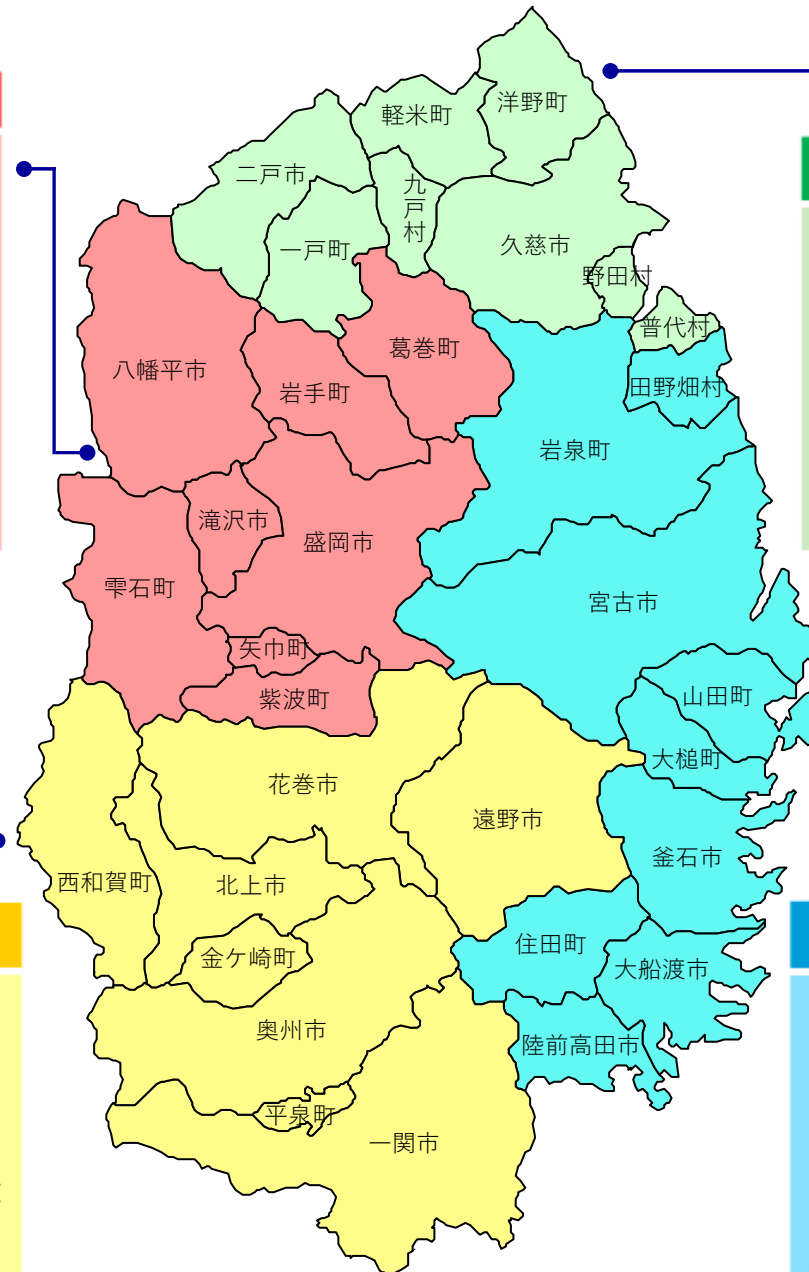
【農畜産物】 雑穀、きゅうり、キャベツ、レタス、ほうれんそう、にんにく、りんご、おうとう、ホップ、ヤマブドウ、葉たばこ、肉用牛、豚、プロイラー、生乳
 【林産物】 あかまつ、広葉樹、木炭、生しいたけ、乾しいたけ、生うるし
 【水産物】 するめいか、あわび類、うに類、こんぶ類（養殖）、ほたてがい（養殖）

県南地域

【農畜産物】 水稲、そば、大豆、小麦、ピーマン、アスパラガス、えだまめ、トマト、さといも、りんご、ぶどう、なし、ホップ、小ぎく、りんどう（切り花類）、肉用牛、豚、生乳、プロイラー
 【林産物】 すぎ、広葉樹、生しいたけ、水わさび

沿岸地域

【農畜産物】 いちご、しそ、肉用牛、豚、プロイラー、生乳
 【林産物】 広葉樹、生しいたけ、乾しいたけ、畑わさび、まつたけ
 【水産物】 かつお、さけ・ます類、さば類、さんま、たら類、おきあみ類、するめいか、あわび類、うに類、ほたてがい（養殖）、かぎ類（養殖）、わかめ類（養殖）、こんぶ類（養殖）



岩手県の農業（1）

- ・耕地面積は14万9,300haで全国第5位、うち牧草地在2万7,200haで2位。
- ・担い手への農地の集積面積は8万237haで全国第5位。
- ・農業経営体数は3万5,380経営体で全国第7位。総農家数は5万2,688戸で7位、うち販売農家は3万3,861戸で7位。
- ・基幹的農業従事者数は4万4,458人で全国第9位、うち65歳以上は3万2,784人で6位。認定農業者数は6,581経営体で13位。

耕地面積

区分	岩手県	全国	全国順位
耕地面積	149,300 ha	4,349,000 ha	5
田	93,900 ha	2,366,000 ha	8
畑	55,400 ha	1,983,000 ha	5
普通畑	24,800 ha	1,126,000 ha	13
樹園地	3,420 ha	263,200 ha	22
牧草地	27,200 ha	593,400 ha	2
参考) 総土地面積	1,527,501 ha	37,797,463 ha	2

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	岩手県	全国	全国順位
農業経営体数	35,380 経営体	1,075,705 経営体	7
法人経営体	840 経営体	30,707 経営体	8
総農家数	52,688 戸	1,747,079 戸	7
販売農家	33,861 戸	1,027,892 戸	7
参考) 世帯総数	492,436 世帯	55,830,154 世帯	32
集落営農数	610 集落営農	14,490 集落営農	8

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

荒廃農地面積

区分	岩手県	全国	全国順位
荒廃農地面積	4,073 ha	281,831 ha	25

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	岩手県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	44,458 人	1,363,038 人	9
男	25,255 人	822,144 人	10
女	19,203 人	540,894 人	8
65歳以上	32,784 人	948,621 人	6
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	73.7 %	69.6 %	-
認定農業者数	6,581 経営体	233,806 経営体	13
法人数	700 法人	26,080 法人	11
参考) 総人口数	1,210,534 人	126,146,099 人	32

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

担い手への農地の集積状況

区分	岩手県	全国	全国順位
担い手への集積面積	80,237 ha	2,535,115 ha	5
集積率	53.7 %	58.0 %	13

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

岩手県の農業（2）

- ・農業産出額は2,741億円で全国第10位、うちブロイラーが612億円で3位、生乳が238億円で4位、肉用牛が259億円で5位、雑穀が4億円で7位、豚が314億円で8位。
- ・農畜産物の生産状況は、りんどう（切り花類）、ヤマブドウ及びホップが全国第1位、葉たばこ、ブロイラー及びりんごが3位。

農業産出額

区分	岩手県	全国	全国順位
農業産出額	2,741 億円	89,557 億円	10
米	566 億円	16,551 億円	10
麦類	2 億円	521 億円	23 *
雑穀	4 億円	77 億円	7
豆類	11 億円	712 億円	12
いも類	6 億円	2,391 億円	40
野菜	292 億円	22,520 億円	27
果実	142 億円	8,741 億円	15
花き	44 億円	3,080 億円	23
工芸農作物	37 億円	1,553 億円	8
その他作物	9 億円	697 億円	19 *
畜産	1,628 億円	32,279 億円	4
肉用牛	259 億円	6,863 億円	5
乳用牛	264 億円	9,310 億円	4
生乳	238 億円	7,798 億円	4
豚	314 億円	6,596 億円	8
鶏	781 億円	8,724 億円	3
鶏卵	135 億円	4,577 億円	13
ブロイラー	612 億円	3,621 億円	3 *
その他畜産物	10 億円	787 億円	8
加工農産物	0 億円	436 億円	39

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区分	年次	岩手県	全国	全国順位	
りんどう（切り花類）	出荷量	R2	47,300 千本	81,700 千本	1
ヤマブドウ	収穫量	R1	244 t	375 t	1
ホップ	生産量	R2	91 t	187 t	1
葉たばこ	販売重量	R2	1,652 t	13,748 t	3 *
ブロイラー	出荷羽数	R3	118,393 千羽	713,834 千羽	3 *
りんご	収穫量	R2	47,200 t	763,300 t	3 *
乳用牛	飼養頭数	R3	41,000 頭	1,356,000 頭	4
肉用牛	飼養頭数	R3	91,000 頭	2,605,000 頭	5
生乳	生産量	R2	212,862 t	7,438,218 t	4
ピーマン	収穫量	R2	8,230 t	143,100 t	5

出典：「花き生産出荷統計」、「ホップに関する資料」（全国ホップ連合会）、「特産果樹生産動態等調査」、「畜産統計」、「果樹生産出荷統計」、「葉たばこ販売実績（府県別）」（全国たばこ耕作組合中央会）、「牛乳乳製品統計」、「野菜生産出荷統計」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	岩手県	全国	全国順位	
農産加工	総額	8,494 百万円	946,841 百万円	35
	事業体数	920 事業体	32,400 事業体	9
農産物直売所	総額	18,704 百万円	1,053,366 百万円	24
	事業体数	470 事業体	23,650 事業体	23
観光農園	総額	447 百万円	35,943 百万円	24
	経営体数	40 経営体	5,290 経営体	35

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

岩 手 県 の 林 業

- ・ 林野面積は115万2,364haで全国第2位。林業経営体数は1,728経営体で3位。
- ・ 林業産出額は178.2億円で全国第5位、うち木材生産が3位。
- ・ 林産物の生産状況は、あかまつ・くろまつ、木炭（黒炭）、まつたけ及び生うるしが全国第1位。
- ・ 製材工場数は115工場で全国第11位。

林野面積

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
林野面積	1,152,364 ha	24,770,201 ha	2
国有林	364,916 ha	7,153,338 ha	5
民有林	787,448 ha	17,616,863 ha	2
人工林面積	488,680 ha	10,203,842 ha	2

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,728 経営体	34,001 経営体	3
法人経営体	193 経営体	4,093 経営体	3

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
林業産出額	178.2 億円	4,286.4 億円	5
木材生産	130.7 億円	1,943.7 億円	3
栽培きのこ類生産	39.4 億円	2,259.6 億円	17

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,355 千m ³	19,882 千m ³	3
針葉樹	1,112 千m ³	18,037 千m ³	3
あかまつ・くろまつ	218 千m ³	570 千m ³	1
からまつ	254 千m ³	2,008 千m ³	2
広葉樹	243 千m ³	1,845 千m ³	2
木炭（黒炭）	生産量 2,082.2 t	4,878.4 t	1 *
まつたけ	生産量 19.2 t	31.6 t	1 *
生うるし	生産量 1,525.0 kg	2,050.5 kg	1
わさび（葉柄）	生産量 346.1 t	1,566.6 t	2
生しいたけ	生産量 4,733.5 t	70,279.6 t	3

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
工場数	115 工場	4,115 工場	11
製材用素材の入荷があった工場数	115 工場	4,067 工場	11
国産材のみ	88 工場	3,237 工場	14
国産材と輸入材	27 工場	653 工場	6

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

岩 手 県 の 漁 業

- ・ 漁船隻数は5,791隻で全国第5位。
- ・ 海面漁業・養殖業産出額は346億円で全国第13位。
- ・ 水産物の生産状況は、あわび類（海面漁業）が全国第1位、わかめ類（海面養殖業）が2位、さけ類（内水面漁業）が3位。
- ・ 漁業者等による生産関連事業は、漁家民宿の年間販売金額が1億900万円で全国第15位。

漁船隻数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
漁船隻数	5,791 隻	132,201 隻	5
動力漁船	1,146 隻	69,920 隻	26

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	3,406 経営体	79,067 経営体	5
内水面漁業経営体数	38 経営体	4,772 経営体	31

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	6,327 人	151,701 人	4
男	5,432 人	134,186 人	5
女	895 人	17,515 人	6

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	346 億円	13,484 億円	13

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	96,102 t	4,182,983 t	13 *
海面漁業漁獲量	65,683 t	3,213,334 t	14
あわび類	119 t	669 t	1
海面養殖業収穫量	30,419 t	969,649 t	11 *
わかめ類	16,423 t	53,809 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	448 t	50,832 t	17 *
内水面漁業漁獲量	236 t	21,745 t	13 *
さけ類	236 t	6,609 t	3 *
内水面養殖業収穫量	212 t	29,087 t	19 *
にじます	163 t	3,858 t	7 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	岩 手 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	1,660 百万円	175,132 百万円	21
	事業体数	40 事業体	1,500 事業体	9
水産物直売所	総額	85 百万円	36,489 百万円	30 *
	事業体数	10 事業体	800 事業体	18 *
漁家民宿	総額	109 百万円	6,659 百万円	15 *
	経営体数	10 経営体	900 経営体	18 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

岩手県の農林水産業の話題等

岩泉町の畑わさび～辛さとともに、ほのかな甘みが特長～

畑わさび生産量が日本一の岩手県。その8割を占めているのが岩泉町。畑わさびは、清流で栽培されるわさびと同じ植物であるが、土に植えていることから大きく育つのは「茎」の部分。岩泉町は総面積の93%が森林で、豊富な森林資源を利用できる特産物として畑わさびの生産振興を積極的に行っている。

近年はわさびの専門化を進め、4ヘクタール程の大規模経営を確立したモデル農業者も出てきており、安定した経営を目指す若い農業者が次々と現れている。就農11年目の農業者からは「畑わさび栽培は、初期投資は比較的少なく、需要も十分あり、規模拡大することで安定した収入が見込める。」とのこと。

町ではカット処理等の原料加工を行う一次加工施設、製品化までを行う二次加工施設を整備し、生産から加工までを町内で行うことで、6次産業化による新たな付加価値を生み出し、雇用の創出による地域活性化を展開している。



手作業による畑わさびの収穫



岩泉町が整備した畑わさび加工場

農福連携を中心に様々な取組みを実践している農業法人

岩手県一関市川崎町にある「(有)かさい農産」は、野菜の生産・販売を中心とした県内でも大規模経営を行っている農業法人。野菜はハウス栽培(2.3ha)と露地栽培(3.5ha)があり、ハウスは主に、チンゲン菜、小松菜等の葉物、露地は人参、ごぼうの根菜類を中心に生産を行っており、ハウス栽培は1年を通して生産販売を行っている。

別法人として、就業継続A型・B型支援事業所「一般社団法人やさいサラダ」(利用者は約25人)を経営しており、農福連携による地域に根差した活動を行っている。

また、6次産業化の取組として、自社の野菜を使用して、ごぼう茶、野菜パウダーを加工販売している。これに加えて、令和3年より人参ドレッシングの販売も開始した。

平成19年にグローバルGAPとJGAPを取得するとともに、令和元年にGFPに登録しており、今後、輸出への取組も視野にいれている。

令和2年に有機JAS認証を取得しており、有機農業の拡大にも意欲を示している。



(有)かさい農産のハウス施設(ハウス棟数71、面積2.3ha)



ハウス施設内の収穫作業の様子

地域と一体の取組「一集落一農場」を実現

岩手県岩手町の農事組合法人一方井(いっかたい)地区営農組合は、圃場整備事業に取り組み、団地化を推進。農業機械の共同利用を集落で決定。日常管理は組合員が行い作業の効率化や品質の向上・平準化を実現。「人・農地プラン」の中心経営体として、地域の農地利用集積に取り組み、土壌分析を基に化学肥料に代えて堆肥をほ場還元するなど、環境保全型農業にこだわり、農業に頼らない、そして自然にやさしい農業を実施している。

また、地元の小学校や教育委員会等と連携し、授業の一環として種まきから収穫、そして消費までを体験することが出来るシステム作りを行い、農作業体験を通して子供達の「食べ物」「生産者」に感謝する心を育む。平成29年度からは、それまで取り組んできた田植体験を「田んぼアート」に発展させ、地域おこしの観点からも事業を展開。

集落の全農家が組合員であり、「一集落一農場」を実現し取り組んでいる。



田んぼアート



組合の最大のメリットは女性の参加